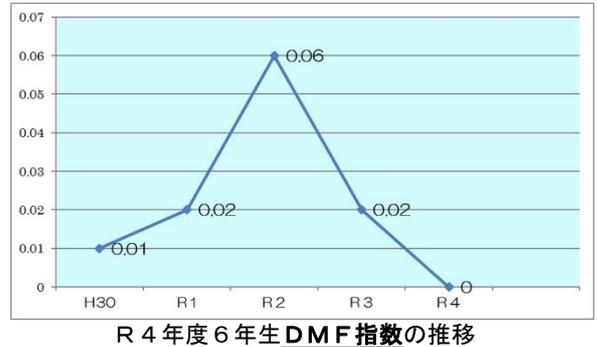


## 山県の自慢 歯とお口の健康

今年、富岡小学校は、岐阜県学校歯科保健優良校表彰をいただきました。これは岐阜県歯科医師会が学校歯科保健への取り組みが優良と判断された学校を表彰するものです。富岡小では、平成19年に優良校賞を受賞し、平成22年には日本学校歯科医会会長賞(全国表彰)をいただいています。今回は、コロナ禍でも継続したフッ化物洗口と歯みがき指導の再開、PTAによる歯みがきの取組、児童の保健委員会による取組が評価されました。今年の6年生は、**DMF指数**という虫歯の治療に関わったことのある歯を示す数値「0」を達成することができました。この表彰で満足することなく、全ての子どもたちがお口の健康を自慢できる姿を目指していきたいと思えます。



ご存じのように、山県市内の小中学校では、富岡小と同様に歯科保健に取り組んでいます。今年には伊自良北小学校が、昨年は桜尾小学校が全国表彰を受賞しました。全国でも数校しか選ばれない表彰校に、毎年のように山県市の学校が選ばれているのには理由があります。

山県市の「歯と口腔の健康づくり」の取組は、平成16年度から始まりました。当時の子どもの虫歯の発生率はとても高いものだったといえます。子どもたちの虫歯をなくすという目標に向けて、フッ化物洗口事業を立ち上げました。全国でも注目される山県市の特色は、学校と家庭、歯科医師会、健康介護課が一つになって取り組んでいることです。歯科医の指導の下、健康介護課が事業を予算化し、物品を支給しています。歯科衛生士によるブラッシング指導も続けられています。学校だけでなく幼稚園・保育園からフッ化物洗口を実施している点も、幼い子どもたちが歯みがきに対して高い意識をもつことにつながっているのです。



学校歯科医 尾野先生による検診

本校では、給食後に週に1回ずつ、歯みがきとフッ化物洗口のための歯みがきタイムを設定しています。歯みがき習慣は児童に定着していますが、まだまだ十分ではありません。家庭でも「自分の健康は自分で守る」という意識を実践できるようお見守りください。フッ化物洗口で虫歯を防ぐことができても、歯肉炎予防は歯みがきが不可欠です。

学校歯科医の尾野先生は「富岡で育った子が親になり、世代を超えて、歯を大切にする土壌が育まれつつあります。」と語ります。山県市の取組が18年を経て、健康な歯をもつ大人が増えていることから、自分の歯や歯肉の状態を健康に保つために必要なのは、毎日の生活習慣と歯科保健の意識であることは間違いありません。

今年は、例年以上に長い冬休みとなります。ご家族の皆さんで健康に留意されて、すてきな新年を迎えられることをお祈りしています。

# 放課後児童クラブの受入れについて

1月10日（火）より、放課後児童クラブの受け入れに協力し、富岡小北舎3階英語活動室・パソコン室を提供することになりました。放課後児童クラブは、保護者が昼間家庭にいない児童に遊びや生活の場を与えて、健全な育成を図ることを目的として子育て支援課こどもげんきはうすが運営しています。現在40名を超える児童が参加しています。

## 創立150年の歩み その4

明治24年10月28日、濃尾地震が発生しました。地震はとても大きく、今でいうマグニチュード8.4くらいといわれています。日本最大級の内陸型直下型地震でした。激しい揺れによって、地面は波打ち、浮き沈みが見られました。鳥羽川は陥没して水がせき止められて湖ようになり、富岡の村はその水に沈んでしまいました。



富岡の村はその水に沈んでしまいました。

矢印が示すのが今の富岡小学校の場所です。